### 「設計施工一括発注方式による下水道工事」 総合評価方式ガイドライン (試行版)

令和3年9月 四日市市上下水道局

## 四日市市「設計施工一括発注方式による下水道工事」 総合評価方式ガイドライン (試行版) 目次

1	. 彭	設計施工一括発注方式による下水は	直工	.事	り	お	け	る	総	合	評	価	方	式	のキ	既要
	(1)	設計施工一括発注方式とは		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
	(2)	総合評価方式の種類	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	•	簡易型	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	(3)	落札者決定方法	•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	1
	(4)	技術評価点、価格評価点の設定	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2	. 飠	育易型について														
	(1)	評価項目 [ 簡易型 ]	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	3
	(2)	評価内容、評価基準、評価点[	簡	易	型	]		•		•	•		•	•	•	3
		①地域要件	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	3
		②企業要件	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
		③技術者要件	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8
		④技術力	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		10
3	. 7	この他の留意事項等														
	(1)	低入札価格調査制度の適用	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	16
	(2)	評価項目等の公表	•	•	•	•	•	•		•	•		•	•	•	16
	(3)	評価結果の公表	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		16
	(4)	評価内容の担保とペナルティ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		16
	(5)	入札公告手続き	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		17
	(6)	情報公開	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		18
	(7)	評価結果に対する質問等	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		18
	(8)	提出資料の留意事項	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	18
	(9)	特定建設工事共同企業体の場合の	の割	2個	j項	自	•	•	•	•	•	•	•	•	•	19
	(10	)手続きの流れ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	21
4	. 参	\$考資料	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	22
	(1)	簡易型評価項目														
	(2)	簡易型評価項目(ヒアリングなし	.)													
	(3)	提出資料														
		①地域資料														
		②会社資料														
		③会社実績資料														
		④施工体制資料														
		⑤技術者実績資料														

- ⑥技術資料
- ⑦ヒアリング出席者届出書

#### 1. 「設計施工一括発注方式による下水道工事」総合評価方式の概要

#### (1)「設計施工一括発注方式」とは

四日市市上下水道局では、公共工事発注において民間企業の優れた技術を活用し、設計・施工の品質確保、合理的な設計、効率性を図るため、試行的に設計・施工の一括発注を実施します。

#### (2) 総合評価方式の種類

「設計施工一括発注方式による下水道工事」に係る総合評価方式は、「簡易型」 で実施します。

#### ・簡易型 (⇒詳細は、p. 3~)

地域要件、企業要件、技術者要件の評価項目のほか、工事に関する工程管理・品質管理・周辺環境・施工上の課題等のテーマにそって作成された技術提案の評価、現場配置技術者の技術力評価と入札価格を総合的に評価する方式です。

技術評価点の配点は、

地域要件、企業要件、技術者要件(14点)+技術力(16点)

#### (3) 落札者決定方法

下記の加算方式により評価値を算出し評価値による判定を行います。評価値が、最も高い者が落札者となります。

#### 評価値=技術評価点+価格評価点

ただし、落札者の決定に当たっては、次に掲げる事項を適用します。

- ①入札価格が予定価格を超えた場合は無効とし、評価を行いません。
- ②入札価格が失格基準価格を下回った場合は失格とし、評価を行いません。
- ③入札価格が低入札価格調査基準価格を下回った場合、低入札価格調査制度を適用しますので、評価値が最も高い者であっても、落札者とならない場合があります。
- ④評価値の最も高い者が、2者以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定します。

#### (4) 技術評価点、価格評価点の設定

評価値を算定する際の技術評価点、価格評価点は、下記のとおりとします。 ①評価点の設定は、次表のとおりとします。

方 式	技術評価点配点	価格評価点配点
簡易型	30点	70点

②価格評価点の算出方法は、次式のとおりとします。

ア. 入札価格≦低入札価格の場合

価格評価点=

価格評価点配点×

失格基準価格

失格基準価格+(入札価格-失格基準価格)/100

イ. 入札価格>低入札価格の場合

価格評価点=

失格基準価格

価格評価点配点× -

失格基準価格+(低入札価格-失格基準価格)/100+(入札価格-低入札価格) ※低入札価格とは低入札価格調査基準価格です。

③評価点の端数処理及び表示は、次のとおりとします。 技術評価点は、小数点第6位以下を切り捨て、小数点第5位まで表示とします。 価格評価点は、小数点第6位以下を切り捨て、小数点第5位まで表示とします。

#### <落札者決定例>

予定価格 100,000,000 円 簡易型

低入札価格調査基準価格 80,000,000 円

失格基準価格 75,000,000 円

	A社	B社	C 社	D社	E社
技術評価点(30 点満点)	20. 00000	25. 00000	15. 00000	15. 00000	10.00000
入札価格	95, 000, 000	90, 000, 000	85, 000, 000	81, 000, 000	78, 000, 000
価格評価点(70点満点)	58. 30094	61. 72839	65. 58400	69. 03353	69. 97201
評価値	78. 30094	86. 72839	80. 584	84, 03353	79. 97201
(技術評価点+価格評価点)	76. 30094	00. 12039	00.004	04. 05555	19.91201
順位	5	1	3	2	4
落札者		0			

#### 2. 簡易型について

#### (1)評価項目[簡易型]

簡易型は、地域要件、企業要件、技術者要件の評価項目と技術力の評価項目と して「工程管理・品質管理・周辺環境・施工上の課題」から、発注工事ごとに具 体的なテーマを設定して、テーマに対する技術提案書の提出を求めます。また、 記載内容について配置予定技術者にヒアリングを実施します。ただし、工事内 容により、「ヒアリング無し」とする場合があります。

簡易型の評価項目及び技術評価点の割合は次のとおりとします。

評価分類	評価項目	割合
地域要件	工事地域精通度	6%
企業要件	工事成績	
	優良工事表彰	
	施工実績	30%
	地域・社会貢献度	
	安全衛生管理	
技術者要件	施工実績	10%
技術力	工程管理	
	品質管理	
	周辺環境	54%
	施工上の課題	
	ヒアリング	

<sup>※</sup>評価項目及び技術評価点の割合は、個々の工事の内容に応じ、変更する場合があります。

#### (2) 評価内容、評価基準、評価点 [ 簡易型 ]

#### ①地域要件

#### ア. 工事地域精通度

発注工事地域の地域事情精通度について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
本店等所在地		市内に本店を有する	1
(代表者以外の構	1	市内に受任者を有する	0.5
成員)		上記以外	0

<sup>※</sup>代表者は市内本店であるため、本店等所在地の項目設定はありません。

※受任者とは、四日市市請負工事入札参加資格者名簿に登載された者のうち、「測量・調査・ 設計業務における四日市市市内受任者の認定基準要領」に基づき、市内受任者として認定 されたもの ※本店等所在地は、公告日現在における四日市市請負工事入札参加資格者名簿上の所在地で 評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
平成 18 年度以降の		平成 18 年度以降に市内での工事施工実績があ	
1契約2,500万円以		十成 10 十度以降に用りての工事施工夫額がめ	0. 5
上の市内での工事	0.5	7	0. 5
施工実績の有無	0. 5	3	
(代表者)		市内での工事施工実績がない	0

評価内容	得点	評価基準	評価点
平成 23 年度以降の			
1契約100万円以上		平成 23 年度以降に市内での業務実績がある	0. 5
の市内での業務実	0 5	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
績の有無	0. 5		
(代表者以外の構		市内での業務実績がない	0
成員)		111 9 2 7 71033 51500 500	· · ·

- ※工事実績は、施工場所等の内容が確認できる契約履行証明・工事完成認定書の写し・竣工 登録されたコリンズの登録内容確認書(工事実績)の写しのいずれかを提出してください。
- ※業務実績は、業務場所等の内容が確認できる契約履行証明・業務完了認定書の写し・完了 登録されたテクリスの登録内容確認書(業務実績)の写しのいずれかを提出してください。
- ※工事(業務)実績は、公告日現在で完成(完了)していることが必要です。
- ※JV工事実績は、出資比率 20%以上の特定建設工事共同企業体の実績に限ります。

#### ②企業要件

### ア.工事成績

本市発注の当該工事業種の過去5年間(平成28~令和2年度に完成した工事)の工事成績平均について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
本市工事過去 5 年		当該業種の「工事成績平均の評価点」の算出	
平均工事成績(当該		方法は、次式のとおりとします。	
業種)		評価点= (工事成績平均-70) ×1/5	
(代表者)	2~0	※当該業種の工事成績平均が80点以上:2点	2.00~0
		※当該業種の工事成績平均が 70 点:0.1 点	
		※当該業種の工事成績平均が 70 点未満又は	
		当該業種工事の実績を有しない:0点	

- ※算出式中の工事成績平均は、小数点以下切捨てとします。
- ※工事成績が1件の場合は、その点数を算出式中の工事成績平均とします。
- ※JVで受注した工事の工事成績評点を含む。

ただし、算出対象の工事が重複した場合は、ひとつの工事のみ対象とします。

※工事成績が確認できる工事成績評定通知書の写しを提出してください。

上記写しの代わりに一覧表の提出でも可(工事場所、工事名、工事成績点数がわかるもの)。

#### イ. 優良工事表彰

本市の優良建設工事請負業者表彰の実績について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
当該年度を含む過		当該業種かつ1契約の請負金額が当該発注工事	1
去 10 年間の本市優		予定価格の2分の1(円未満切捨て)以上の工事	
良工事表彰の実績		における優良工事表彰の実績がある	
の有無		当該業種かつ1契約の請負金額が当該発注工事	0. 7
(代表者)	1	予定価格の2分の1(円未満切捨て)未満の工事	
		における優良工事表彰の実績がある	
		上記以外で優良工事表彰の実績がある	0. 5
		優良工事表彰の実績がない	0

※優良工事表彰の実績のわかる書類(①表彰の写し、②工事完成認定書の写しまたは契約書・変更契約書の写し)を提出してください。

上記写しの代わりに一覧表の提出でも可(表彰年度、業種、工事名、最終請負金額がわかるもの)。

- ※JVで表彰された実績も評価の対象となります。
- ※対象となる優良工事表彰は、平成24年度表彰~令和3年度表彰になります。
- ※「1契約の請負金額」は、完成時の請負金額とします。

#### ウ. 施工(業務)実績

発注工事(業務)にかかる施工(業務)実績について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
平成 18 年度以降の		平成 18 年度以降に同種工事の元請・	1
同種·類似工事実績		JV工事実績がある	1
の有無	1	平成 18 年度以降に類似工事の元請・	0.5
(代表者)		JV工事実績がある	0. 5
		同種・類似工事の元請・JV工事実績	0
		がない	0

評価内容	得点	評価基準	評価点
平成 23 年度以降の		平成23年度以降に同種業務の元請実	1
同種·類似業務実績		績がある	1
の有無	1	平成23年度以降に類似業務の元請業	0. 5
(代表者以外の構		務実績がある	0. 5
成員)		同種・類似業務の元請業務実績がな	0
		V	0

※同種工事(業務)・類似工事(業務)は発注工事(業務)ごとに同種工事(業務)・類似工事 (業務)に係る要件を評価基準として設定します。要件は、構造・形式、規模、工法等によ り設定します(○○造、延長○○m以上、面積○○㎡等)。なお、必要な場合は、金額要件を 設定します(○○円以上)。

- ※工事(業務)実績は、公告日現在で完成(完了)していることが必要です。
- ※実績資料に記載できる工事(業務)実績は各1件までです。
- ※工事実績は、施工場所等の内容が確認できる契約履行証明・工事完成認定書の写し・竣工登録されたコリンズの登録内容確認書(工事実績)の写しのいずれかと仕様書や図面等、工事内容を確認できる書類を提出してください。
- ※業務実績は、業務場所等の内容が確認できる契約履行証明・業務完了認定書の写し・完了登録されたテクリスの登録内容確認書(業務実績)の写しのいずれかと仕様書等、業務内容を確認できる書類を提出してください。

#### 工. 地域・社会貢献度

地元及び社会の貢献度について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
障害者雇用の有無		法定雇用率を達成している又は法定雇用義務はないが	1
(代表者)	1	障害者を雇用している	1
	1	法定雇用率を達成していない又は障害者を雇用してい	0
		ない	U

※障害者の雇用の促進等に関する法律により義務付けられている企業(45.5 人以上の事業主)は、職業安定所に提出する障害者雇用状況報告書等の写しにより法定雇用率による法定雇用が達成されていることを確認します(身体障害者、知的障害者又は精神障害者数の不足数が0人であること)。なお、障害者雇用状況報告書は、職業安定所へ提出した最新のものを提出してください(8月1日以降に入札の公告を行うものについては当該年度のものに限る)。

上記以外の企業については、障害者手帳番号等により雇用を確認します。(併せて令和3年6月1日現在の常時雇用(3か月以上)を確認できる健康保険証等の写しを提出してください。 一人分の提出で可)

評価内容	得点	評価基準	評価点
次世代育成支援活		就業規則等に育児休業制度が規定されている	0, 5
動実績の有無	0.5	TABLE TO THE TABLE	•
(代表者)		就業規則等に育児休業制度が規定されていない	0

※育児休業制度については就業規則の写しにより確認します。労働基準監督署の受付印が確認できる写しを提出してください。別に育児休業の規定を設けている場合はその写しも併せて提出してください(育児休業の規定の写しで労働基準監督署の受付印が確認できる場合は、その写しの提出でも可)。

評価内容	得点	評価基準	評価点
災害協定締結の有		本市と災害協定を締結している	0, 5
無	0.5		0.0
(代表者)		本市と災害協定を締結していない	0

※災害協定締結については、本市との災害協定書の写しの提出により確認を行います。

評価内容	得点	評価基準	評価点
ISO、M-EMS の認証		ISO9000S、IS014001、M-EMS のいずれかの認証の	0 [
取得の有無	0.5	取得がある	0. 5
(代表者)	0.5	ISO9000S、ISO14001、M-EMS の認証を取得してい	0
		ない	0

※ISO9000S、ISO14001、M-EMS(ステップ2又はステップ1)のいずれかの認証があれば評価します。認証については、評価機関による登録証等の写しの提出により確認を行います。その際、認証されている事業活動と登録を受けている事業所(本社、工場、工事関係部署等)のわかる書類も添付してください。工事と無関係な事業活動や登録事業所の場合は、評価しません。

評価内容	得点	評価基準	評価点
地元業者施工率	1	地元業者施工率が70%以上である	1
	1	地元業者施工率が70%未満である	0

※総合評価当該工事において地元業者施工率が70%以上になると申告した場合について評価 します。地元業者施工率とは、元請の請負金額に占める市内本店業者(元請及び一次下請) の請負金額の割合のことをいいます。また、契約内容に応じ、材料や経費についても下請負 金額に含んで施工率を算定してください。

地元業者施工率が70%以上であると申告した場合は、契約後、工事一部下請届け及び下請負契約書の写しの下請負金額で、施工率を確認します(施工において最終的に70%未満になると減点対象となります)。

施工率 (70%) については、発注時の地域要件、工法、業種等により率を変更する場合があります。

#### 才. 安全衛生管理

労働安全衛生マネジメントシステムの認証について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
労働安全衛生マネ			
ジメントシステム	0.5	労働安全衛生マネジメントシステム認証がある	0. 5
認証の有無	0. 5		
(代表者)		労働安全衛生マネジメントシステム認証がない	0

※労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001、OHSAS18001、JISHA 方式適格 OSHMS) 又は 建設業労働安全衛生マネジメントシステム (COHSMS) の認証について評価します。認証については、評価機関による評価証、適合証明書等の写しにより確認します。認証されている事業活動と登録を受けている事業所(本社、工場、工事関係部署等)のわかる書類も添付してください。工事と無関係な事業活動や登録事業所の場合は、評価しません。

#### ③技術者要件

#### ア. 施工(業務)実績

配置予定主任(監理)技術者の施工実績について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
平成 18 年度以降		平成 18 年度以降に同種工事の元請・JVとし	
の同種・類似工事		ての主任技術者又は現場代理人の工事実績が	2
実績の有無		ある	
(代表者)		若手技術者で平成 18 年度以降に類似工事の元	
		請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の	1. 5
	2	工事実績がある	
		平成 18 年度以降に類似工事の元請・JVとし	
		ての主任技術者又は現場代理人の工事実績が	1
		ある	
		同種・類似工事の主任技術者又は現場代理人と	0
		しての工事実績がない	U

配置予定管理技術者の業務実績について評価します。

評価内容	得点	評価基準	評価点
平成 23 年度以降		平成 23 年度以降に同種業務の元請としての管	1
の同種・類似業務		理技術者の業務実績がある	1
実績の有無	1	平成 23 年度以降に類似業務の元請としての管	0 5
(代表者以外の	1	理技術者の業務実績がある	0. 5
構成員)		同種・類似業務の管理技術者としての業務実績	0
		がない	0

- ※JV工事実績は、出資比率20%以上の特定建設工事共同企業体の実績に限ります。
- ※若手技術者は令和3年6月1日現在で満45歳以下とします。
- ※同種工事(業務)・類似工事(業務)は発注工事(業務)ごとに同種工事(業務)・類似工事 (業務)に係る要件を評価基準として設定します。要件は、構造・形式、規模、工法等によ り設定します(○○造、延長○○m以上、面積○○㎡等)。なお、必要な場合は、金額要件を 設定します(○○円以上)。
- ※工事実績は、施工場所等の内容が確認できる契約履行証明・工事完成認定書の写し・竣工登録されたコリンズの登録内容確認書(工事実績)の写しのいずれかと仕様書や図面等、工事内容を確認できる書類を提出してください。
- ※業務実績は、業務場所等の内容が確認できる契約履行証明・業務完了認定書の写し・完了登録されたテクリスの登録内容確認書(業務実績)の写しのいずれかと仕様書等、業務内容を確認できる書類を提出してください。
- ※現場代理人としての工事実績については、公告日現在で完成している工事において、全工事期間中(工事を全面的に一時中止している期間を除く)、工事に従事した実績をいいます。 なお、工場製作期間を含む実績の場合は、全工事期間を現場施工期間とします。
- ※主任(監理)技術者としての工事実績については、公告日現在で完成している工事において、対象工事の契約日から完成日までの期間(工事を全面的に一時中止している期間を除く)において、完成日を含む2分の1以上の連続した期間に従事した実績をいいます。なお、工場製作期間を含む工事実績については、現場施工期間において、完成日を含む2分の1以上の連続した期間に従事した実績とします。
- ※管理技術者としての業務実績については、公告日現在で完了している業務において、全業務期間中、業務に従事した実績をいいます。
- ※実績資料に記載できる工事(業務)実績は各1件までです。
- ※入札参加資格確認申請書の提出時に予備の技術者を申請する場合は、予備の技術者について も実績を証する書類の提出が必要です。その場合、本技術者要件の評価は、低い評価点の技 術者で評価を行います。

#### 4)技術力

技術力は、技術提案と技術者のヒアリングにより評価します。なお、個々の工事の内容に応じ、技術力の評価内容、評価基準及び技術評価点を適宜設定することがあります。

#### く技術提案>

簡易型における技術力の評価は、企業が発注者の指示する仕様に基づき、当該工事の現場条件等を踏まえ、適切かつ確実な施工を確保できるかどうかを確認するため、工程管理・品質管理・周辺環境・施工上の課題の中から2つの評価項目を選択します。(工事内容により評価項目を1つとする場合があります)。

選択した評価項目に発注者が具体的なテーマの設定を行います。入札参加者には、そのテーマを踏まえた対策方法等についての技術提案を求めます。

なお、1テーマにつき提案を3項目求めます。(工事内容により必要な場合は、 最大5項目までで提案項目数の上限を変更する場合があります)。

各提案項目の評価は、提案項目あたりの評価点(5段階評価)を用いて採点し、 合計点数が当該テーマの得点となります。

#### [技術資料作成上の留意事項]

#### (1)技術資料様式について

- ア. 提案項目について
  - ・提案項目は、発注者が示す3項目とします。
  - ・提案項目1~3で提案の記述がない項目については、評価しません。
  - ・発注者が示したもの以外の提案項目を入札参加者で設定し、記述した場合は、 その提案項目は評価しません。
    - ※工事内容により提案項目数を変更する場合があります。
    - ※工事内容により発注者が提案項目を示さない場合があります。その場合は、 入札参加者がテーマを踏まえた提案項目を設定してください。

なお、提案項目を設定する際、1つの提案項目の中に複数の項目を記述しないでください。

- イ. 様式の「具体的な提案内容」欄
  - ・発注者が示した提案項目(案件により入札参加者が設定した提案項目)について、留意すべき課題を踏まえた提案内容を、具体的に記述してください。
  - ・記述された提案内容が実施不可能なものについては、評価しません。
- ウ. 様式の「提案する理由」欄

- ・「具体的な提案内容」欄に記述した提案内容について、提案する理由を記述 してください。
- エ. 様式の「具体的な確認方法」欄
  - ・様式の右側には、提案項目毎に具体的な確認方法(発注者が提案内容の履行を確認する方法)を必ず記述し、提出してください。
  - ・具体的な確認方法の記述がない場合、その提案項目は評価しません。

#### オ. その他留意事項

- ・様式は、A4片面印刷とします。
- ・提案項目 $1\sim3$ の「提案内容」、「具体的な確認方法」欄は、1ページ以内 に収まるように記述し提出してください。
- ・記述する文字の大きさは、11ポイント程度にしてください。
- ・入札参加者が特定できる企業名等の記述はしないでください。
- ・提案項目1~3のそれぞれの記述量については、必要に応じて提案項目1~3を区分する罫線を移動してください。ただし、発注者が様式として記述した箇所(テーマ及び評価基準、提案項目1~3の見出し欄、ページ下の備考など、)は加筆、修正、削除しないでください。

#### (2) 補足資料様式について

- ア. 補足資料様式には、必要に応じて提案項目に記述した内容を補足説明するための図面・表・写真等の写しを添付してください。
- イ. 添付した図面・表・写真等は、どの提案項目の、どの記述箇所を補足説明したものかわかるようにしてください。
- ウ. 補足資料様式は、補足説明するための図・表・写真等を最大2ページで記述 し、提出してください。評価は最大2ページについてのみ行います。
- エ. 補足資料様式は、A4片面印刷とします。
- オ. 図面・表・写真等に、入札参加者が特定できる企業名等の表示はしないでください。

#### 「技術提案の採点例〕

◆評価項目:「施工上の課題」

◆テーマ:□□□□□□□が重要な課題である。このことを踏まえ、「項目1 Aの管理について」「項目2 B作業の管理について」「項目3 Cの仕上り状況の確認」の3項目について、具体的な対策の提案を求める。

1項目あたりの評価基準	現場状況等を 踏まえ適切で 重要な記載が あり極めて優 れている	現場状況等を 踏まえ工夫が 見られ優れて いる	少し工夫がある	標準的な記載 のみで普通で ある	左記以外
1項目あたりの評価点 (3項目の場合)	2. 0	1.5	1.0	0.5	0

#### A社の「施工上の課題」に関する技術提案

提案項目(3項目)	提案内容と具体的な確認方法	採点			
提案項目 1	提案内容:○○、○○、○○。	1 5			
(対策名:Aの管理について)	提案理由:○○。 確認方法:○○。	1. 5			
提案項目 2	提案内容:○○、○○。	2. 0			
(対策名:B作業の管理について)	提案理由:○○。 確認方法:○○。	2.0			
提案項目3	提案内容:○○、○○。	0. 5			
(対策名:Cの仕上り状況の確認)	提案理由:○○。 確認方法:○○。	0. 5			
A社の施工上の課題の得点(提案項目	A社の施工上の課題の得点(提案項目1~3の各採点の合計)				

#### くヒアリング>

提出された技術提案書の内容について、配置予定技術者から記載内容の確認 や不明点についてヒアリングを実施し、業務への取り組み姿勢及び質疑の応答 性について評価します。

なお、工事内容により、「ヒアリング無し」とする場合があります。 (ヒアリング無しの場合、1テーマあたりの提案項目は2項目とします。) また、ヒアリングに関する諸注意については別に定めるものとします。

#### ア、工程管理

評価内容	得点	評価基準	評価点
工程管理に関する	6 (12)	【1項目あたりの評価基準】	【1項目あたり
工夫	※最大		の評価点】
	2.0 点	現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があ	0.0 (4.0)
	(4.0	り極めて優れている	2. 0 (4. 0)
	点) /項	現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている	1.5 (3.0)
	目×3項	少し工夫がある	1. 0 (2. 0)
	目	標準的な記載のみで普通である	0.5 (1.0)
		上記以外	0 (0)

※技術力の評価項目が1つの場合は()内の配点となります。

※評価点は、1テーマあたりの提案項目数を3項目とした場合の、1項目あたりの点数です。 提案項目ごとに、5段階評価で採点し、その合計点数を、当該技術力の評価項目の得点とします。

#### イ. 品質管理

評価内容	得点	評価基準	評価点
品質管理に関する	6 (12)	【1項目あたりの評価基準】	【1項目あたり
工夫	※最大		の評価点】
	2.0 点	現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があ	2.0 (4.0)
	(4.0	り極めて優れている	2. 0 (4. 0)
	点) /項	現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている	1.5 (3.0)
	目×3項	少し工夫がある	1.0 (2.0)
	目	標準的な記載のみで普通である	0.5 (1.0)
		上記以外	0 (0)

※技術力の評価項目が1つの場合は()内の配点となります。

※評価点は、1テーマあたりの提案項目数を3項目とした場合の、1項目あたりの点数です。 提案項目ごとに、5段階評価で採点し、その合計点数を、当該技術力の評価項目の得点とします。

#### ウ. 周辺環境

評価内容	得点	評価基準	評価点
周辺環境に関する	6 (12)	【1項目あたりの評価基準】	【1項目あたり
工夫	※最大		の評価点】
	2.0 点	現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があ	0.0 (4.0)
	(4.0	り極めて優れている	2. 0 (4. 0)
	点) /項	現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている	1.5 (3.0)
	目×3項	少し工夫がある	1.0 (2.0)
	目	標準的な記載のみで普通である	0.5 (1.0)
		上記以外	0 (0)

※技術力の評価項目が1つの場合は()内の配点となります。

※評価点は、1テーマあたりの提案項目数を3項目とした場合の、1項目あたりの点数です。 提案項目ごとに、5段階評価で採点し、その合計点数を、当該技術力の評価項目の得点とします。

#### エ. 施工上の課題

評価内容	得点	評価基準	評価点
施工上の課題に関	6(12)	【1項目あたりの評価基準】	【1項目あたり
する工夫	※最大		の評価点】
	2.0 点	現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があ	2.0 (4.0)
	(4.0	り極めて優れている	2. 0 (4. 0)
	点) /項	現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている	1.5 (3.0)
	目×3項	少し工夫がある	1. 0 (2. 0)
	目	標準的な記載のみで普通である	0.5 (1.0)
		上記以外	0 (0)

※技術力の評価項目が1つの場合は()内の配点となります。

※評価点は、1テーマあたりの提案項目数を3項目とした場合の、1項目あたりの点数です。 提案項目ごとに、5段階評価で採点し、その合計点数を、当該技術力の評価項目の得点とします。

#### オ. ヒアリング

評価内容	得点	評価基準	評価点
		優れている	4
   技術力全般に係る		概ね優れている	3
とアリング	4	良好である	2
		概ね良好である	1
		上記以外	0

- ※指定日時に実施するヒアリングに配置予定技術者は必ず出席してください。
- ※ヒアリングに出席した配置予定技術者以外は、受注後の主任(監理)技術者又は 管理技術者として配置できません。
- ※代表構成員又は代表者以外の構成員の配置予定技術者のいずれかが欠席した場合は評価ができないため、入札は無効とします。

(ただし、発注時に「ヒアリング無し」とした案件は除く)。

- ※ヒアリングの出席者は、公告で別に指定のある場合を除いて、配置を予定している主任(監理)技術者及び管理技術者を必ず含め、最大で3名以内とします。 ただし、出席できる配置予定の主任(監理)技術者及び管理技術者は各1名とします。
- ※「四日市市一般競争入札参加資格確認申請書」の配置予定の技術者等欄は、予備の主任(監理)技術者及び管理技術者を記載することができますが、ヒアリングに出席する配置予定技術者は1名としますので、申請書に予備の技術者を記載した場合は、ヒアリング当日までに1名を決め、「ヒアリング出席者(配置予定技術者)届出書」をヒアリング時に持参し、提出してください。

#### 3. その他の留意事項について

#### (1) 低入札価格調査制度の適用

詳細設計付管渠布設工事における総合評価方式においては、地方自治法施行令 第167条の10の2及び設計施工一括発注方式による下水道工事の入札に係 る低入札価格調査試行要領に規定の低入札価格調査制度を適用します。

低入札価格調査基準価格を下回った入札を行った者が落札候補者となった場合は、落札決定を保留し、「設計施工一括発注方式による下水道工事の入札に係る低入札価格調査試行要領」及び「四日市市低入札価格調査マニュアル」に基づく調査後に落札者を決定します。落札候補者の入札価格及び工事費内訳書について、「四日市市低入札価格調査マニュアル」に規定する「2. 基本的判断基準の(1)」及び「3. 見積内訳書の判断基準の(1)」を満足しない場合は失格となります。それ以外の場合は、同マニュアルに基づく調査を行い、同マニュアルに規定する見積内訳等の検討に係る等判断基準 1 つでも満足しない場合は失格となります。

低入札価格調査基準価格を下回り契約をする場合は、契約保証金、前払金及び 技術者の配置について制限があります。

なお、低入札価格調査基準価格、失格基準価格については、「設計施工一括発 注方式による下水道工事の入札に係る低入札価格調査試行要領」において規定さ れた算出式により算出します。

#### (2) 評価項目等の公表

手続きの透明性・公平性を確保するため、評価項目・評価基準及び落札者の決定方法については、あらかじめ入札公告において明らかにしておきます。

#### (3) 評価結果の公表

総合評価における入札者の提示した技術提案等の評価及び落札結果等については、開札の翌日までに以下の事項を公表します。

- 1. 商号又は名称
- 2. 入札価格
- 3. 価格評価点
- 4. 技術評価点
- 5. 評価値
- 6. 技術評価点内訳表

※内訳表は、評価項目の各小項目単位の評価点を公表しています。 (技術提案の提案項目毎の評価点は公表対象外)

#### (4) 評価内容の担保とペナルティ

落札者の「技術提案等」については、提案内容を担保するために契約書等へ記載を行うとともに、履行確認協議書を交わし、履行確認を行います。評価項目について提出された資料等と事実が異なったことを確認した場合は、受注者に対してペナルティを課するものとします。

ペナルティの内容は下記のとおりです。

- ① 工事完成日の次年度に入札の公告が行われるすべての設計施工一括発注方式による下水道工事に係る総合評価方式の工事1件当たり、地元業者施工率の不履行については「5点」、技術力に係る不履行については「10点」を、当該入札参加者の技術評価点の合計値からそれぞれ減点するものとします。
- ②複数の工事で不履行があった場合は、その減点は累積し、最大30点の減点となります。
- ③特定JVで受注した工事でペナルティが課される場合、各構成員に対して評価を減点するものとします。
- ④特定 J V として入札参加をする際に、当該特定 J V の構成員に減点となる構成員を含む場合は、当該特定 J V に対して減点となります。また、各構成員に不履行工事があった場合は、その減点は累積しますが、同一の不履行工事は、重複して減点はしません。

#### (5) 入札公告手続き

入札公告手続きは、告示板及びホームページにおいて一般競争入札に関する 共通事項を公告し、工事発注ごとに個別事項を公告します。総合評価方式を適用 する工事については、工事発注ごとの個別事項に関する公告において次の事項 を公告することとします。

#### [公告事項]

工事概要

参加資格に関する事項

総合評価方式に関する事項

総合評価方式の類型 評価項目、評価基準、得点配分の設定 評価値の算出 提出資料 同種工事、類似工事 ヒアリング 評価方法及び落札者決定方法 提案内容の履行 提出資料の取扱い 入札結果の公表、入札結果等に対する質問

入札参加確認に関する事項 設計図書等に関する事項 入札に関する事項 支払いに関する事項 予定価格、低入札価格調査基準価格、失格基準価格 その他

#### (6)情報公開

情報公開請求があった場合の取扱いは、「四日市市情報公開条例及び四日市市情報公開条例事務取扱要領」によるものとします。なお、入札参加者から提出された技術資料は公表しないものとします。

#### (7) 評価結果に対する質問等

入札参加者は、公表された自らの評価値や技術評価点(技術提案の提案項目毎の評価点に関する質問は除く)に対して書面により質問することができます。また、入札及び契約に係る苦情申立については、「四日市市入札、契約等に関する苦情処理事務取扱要領」によるものとします。

#### (8) 提出資料の留意事項

総合評価方式の一般競争入札公告に係る入札参加資格確認申請時に申請された 提出資料の内容について、添付資料の確認・審査等の結果、申請内容と異なる評価 を行う場合があります。この場合、下方評価はしますが上方評価は行いません。確 認・審査等は、提出資料のみで行いますので、記載漏れや添付漏れがないように注 意して下さい。

#### (9) 特定建設工事共同企業体(JV)の場合の評価項目

発注形態が特定建設工事共同企業体の場合、評価項目の運用については次のとおりとします。なお評価項目以外の運用については本ガイドラインの該当項目を適用して行うものとします。

			評価の	の対象
⇒	初 左右 口	<b>河伊山</b> 宏		代表者
評価分類	評価項目	評価内容	代表者	以外の
				構成員
地域要件	工事地域精通度	本店所在地		0
		平成 18 年度以降の 1 契約 2,500		
		万円以上の市内での工事施工実	0	
		績の有無		
		平成 23 年度以降の 1 契約 100 万		
		円以上の市内での業務実績の有		0
		無		
企業要件	工事成績	本市工事過去 5 年平均工事成績	(	
		(当該業種)	0	
	優良工事表彰	当該年度を含む過去10年間の優	0	
		良工事表彰の実績の有無	0	
	施工実績	平成 18 年度以降の同種・類似工	0	
		事実績の有無	0	
	業務実績	平成 23 年度以降の同種・類似業		0
		務実績の有無		0
	地域·社会貢献度	障害者雇用の有無	0	
		次世代育成支援活動実績の有無	0	
		災害協定締結の有無	0	
		ISO、M-EMS の認証取得の有無	0	
		地元業者施工率	(	$\overline{}$
	安全衛生管理	労働安全衛生マネジメントシス	0	
		テム認証の有無	0	
技術者要件	施工実績	平成 18 年度以降の同種・類似工		
		事実績の有無	0	
		平成 23 年度以降の同種・類似業		0
		務実績の有無		U

技術力	工程管理	工程管理に関する工夫	0
	品質管理	品質管理に関する工夫	0
	周辺環境	周辺環境に関する工夫	0
	施工上の課題	施工上の課題に関する工夫	0
	ヒアリング	技術力全般に係るヒアリング	0

### (10) 手続きの流れ

手続きの流れは、標準的なものについて次のとおりとなります。ただし、実際の日程について定めるものではありません。

事 項		簡易型
適用工事選出	0	
評価項目(案)の作成	0	
評価項目(案)の審査	0	
適用工事、評価項目(案)の審査	0	
学識経験者からの意見聴取(適用工事、評価項目)	0	
適用工事、評価項目の決定	0	
入札公告	0	
入札参加資格申請書・技術資料の受付開始	0	
		21日
入札参加資格申請書・技術資料の受付終了	0 '	▼
	•	1日
入札参加資格の決定	0	
担当課の書類審査	Ο,	5日
入札書の郵送開始	0	
技術資料の審査評価作業	0	8日
技術評価点の算出	_	
入札書の郵送終了	0 1	
ヒアリングの実施	0	2日
技術評価点の算出	0	
郵便受取り	•	•
開札	0	
評価値の算出	0	
低入札価格調査の実施	Δ	
学識経験者からの意見聴取(落札者)	Δ	
落札者の決定	0	
契約の締結	0	

公告から開札まで 計 37日

参考資料

工事名 : ●●工事

								工事名 : 工事場所	●●工事 : 四日市市 ●● 地内	
評価分類	評価項目		評価内容		の対象 代表者以外の 構成員	割合	大項目得点	小項目得点	評価基準 評価点	備考
地域要件	工事地域精通度	代表者以外の構成員	本店等所在地		0				市内に本店を有する 市内に受任者を有する	1 ・受任者とは、四日市市議員工事入札参加資格者名簿に登載された者のうち、「測量・調査・設計業務における四日市市市内受任者の認定基準要領」に基づき、市内受任者として認定されたものをいう。  - 本店等所在地上、公告日現在における四日市市議員工事入札参加資格者名簿上の所在地で評価する。
		代表者	平成18年度以降の1契約2,500万円以上の市内での工事 施工実績の有無	0		-			上記以外 平成10年度以降に市内での工事施工実績がある	0 ************************************
		代表者以外の構成員	平成23年度以降の1契約100万円以上の市内での業務実			- 01		2 0	市内での工事施工実績がない  エセッタ 摩川路にまかったの 参数字はよくちょ	「能上した未限が有無に、ル・じ、上手能上失限を住する音類が成中でよめる。     「・工事実施、公告日政をできる情報が成中である法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成23年度以降に完成した1契約100万円以上の業務を元請として、市内で行った実績の有無について、業務実績を証する書類の提出を     「態、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成23年度以降に完成した1契約100万円以上の業務を元請として、市内で行った実績の有無について、業務実績を証する書類の提出を
		「大名」の「「の情以来	綾の有無		0			0	平成23年度以降に市内での業務実績がある 市内での業務実績がない	おのコスコは、コスペル、由エス選目によるかしはハスクドのにかったほど、下級と中国のドールがとして来るとル語として、中がでは、アイスのではないでは、アイスのでは
企業要件	工事成績	代表者	本市工事過去5年平均工事成績 (当該業種)	0					当該業種の「工事成績平均・の評価占」の算出方法は、次式のとおりとします。 評価点=「工事成績平均・フリ× 1/5 ※当該業種の工事成績平均が50点以上・2点 ※当該業種の工事成績平均が70点:0.1点 ※70点未満又は当該業種工事の実績を有しない・0点	・当該来種は●●工事である。 ・ 異出式中の工事成績平均は、小数点以下切捨てとする。 ・ 実出式中の工事成績平均は、小数点以下切捨てとする。 ・ 10~0・1 ・ 1√1~2世上工事の工事の議算到を含含む。 ・ 過去5年間(平充20~令和2年度)・完成止大工事)の工事成績が確認できる工事成績評定通知書の写しを提出すること。 ・ 上記写しの代わりに一要なの発出でも可(工事場所、工事名、工事系統一数がわかるもの)。
	優良工事表彰	代表者	当該年度を含む過去10年間の			1			当該業種かつ1契約の請負金額が当該発注工事予定価格の2分の1(円未満切捨て)以上の工事における優良工事 表彰の実績がある	・当該業種は●●工事である。
			本市優良工事表彰の実績の有無	0				,	当該業種かつ1契約の請負金額が当該発注工事予定価格の2分の1(円未満切捨て)未満の工事における優良工事 表彰の実績がある 上記以外で優良工事表彰の実績がある	□ 「優且工事表彰の実施の力から書類(『美参の写し、②工事完成認定者の写しまたに装約者・変更契約書の写し)を提出すること。 上に写したわりに一覧表の提出でも「成影を年度、業種、工事名、最終請負金額がわかるもの)。 □ 1/で表彰された実績と評価の対象とする。 □ 1/可契約の請負金額は、元成時の請負金額とする。 □ 1/可契約の請負金額は、元成時の請負金額とする。
	施工(業務)実績	代表者	平成18年度以降の同種・類似工事実績の有無	0		_			優負工事表彰の実績がない 平成18年度以降に同種工事の元績・JV工事実績がある	「園、地方公共団体、公共法人、園土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成18年度以降に完成した工事を元請又は共同企業体の構成員(出資比率20%以上のものに限る)として、施工した実績の有無について、工事実績、工事内容を確認できる審視の提出を求める。     「契約度行為明・工事実成技術の子、地文主義されたコリンズの登録内容確認書(工事実績)の写しのいずれかと仕様書や図面等、工事内容を確認できる審疑を提出すること。     「主事実績は、公告も現在で完成していること。     「実施資本」と記載されるコリンズの登録内容確認書(工事実績)の写しのいずれかと仕様書や図面等、工事内容を確認できる審疑を提出すること。     「実施資本」と記載される工事実績は、公告に現在で完成していること。     「実施資本」と記載される工事を定義していること。     「実施資本」と記載されること。     「大事実績は、公告も現在で完成していること。     「大事実績と公告に関係していること。     「大事実績と公告に関係していること。     「大事実績といること。     「大事実権といること。     「大事実権といること。     「大事業権といること。     「大事業権といること。     「大事業権といること。     「大事業権といること。     「大事業を持定していること。     「大事業を持定していること。     「大事業を持定している」
									平成18年度以降に類似工事の元請・JV工事実績がある	<ul> <li>・提出された書類により判断できない場合は評価しない。</li> <li>・同種工事とは、◆●をいう。</li> </ul>
		代表者以外の構成員	平成23年度以降の同種・類似業務実績の有無			-			同種・類似工事の元請・JV工事実績がない	
		10女祖 以外の情以養			0	30	s :	9 .	平成23年度以降に同種業務の元請・J∨業務実績がある	「・国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成23年度以降に完了した業務を元請として、行った実績の有無について、業務実績、業務内容を確認できる書類の提出を求める。     ・契約履行証明・業務天 訂定産のラレ・完了登録されたテクリスの登録内容確認者(集務実績)の写しのいずれかと仕様書等、業務内容を確認できる書類を提出すること。     ・実務実績: 公告日現在で完了していること。     ・実務実績: い合日現在で完了していること。     ・提出された書類により期下され、場合とは評価しない。     ・世出された書類により期下され、場合は評価しない。
									平成23年度以降に類似業務の元請・JV業務実績がある	0.5
									同種・類似素癌の元請・JV業務実績がない	- 同種業務とは、●●をいう。 - 類似業務とは、●●をいう。
	地域·社会貢献度	代表者及び代表者以外の構成員	障害者雇用の有無	0					法定雇用率を達成している又は法定雇用義務はないが障害者を雇用している	・胸書者の雇用の促進等に関する法律により雇用が義務付けられている企業(455人以上の事業主)は、職業安定所に提出する障害者雇用状況報告書等の写いにより、法定雇用率による法定雇用が達成されていること(身体障害者、知的
									法定雇用率を達成していない又は障害者を雇用していない	■ 障害者又は精神障害者数の不足数が0人であること)を確認する。なお、障害者雇用状況報告書は、職業安定所へ提出した最新のものを提出すること(8月1日以降に入札の公告を行うものについては当該年度のものに限る)。 ・上記以外の企業については、障害者手帳番号等により雇用を確認する。(併せて令和3年6月1日現在の常時雇用(3ケ月以上)を確認できる健康保険証等の写しを提出すること。 ─ 人分の提出で可)  □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
		代表者及び代表者以外の構成員	次世代育成支援活動実績の有無	0		1		0	就業規則等に育児休業制度が規定されている 就業規則等に育児休業制度が規定されていない	○5 労働基準監修署の受付印が確認できる就業規則等の写しにて確認する。別に育児休業の規定を設けている場合はその写しの提出も併せて求める。 (育児休業の規定の写して労働基準監修署の受付印が確認できる場合は、その写しの提出でも可)
		代表者及び代表者以外の構成員	災害協定締結の有無	0				0	本市と災害協定を締結している 本市と災害協定を締結していない	0.5         ・本市との災害協定書の写しを活付のうえ提出を求める。
		代表者及び代表者以外の構成員	ISO、M一EMSの認証取得の有無	0				0	ISO9000S、ISO14001、M-EMSのいずれかの認証の取得がある	05 - ISO9000S、ISO14001、M-EMS(ステップ2又はステップ1)のいずれかの認証があれば評価する。認証については、評価機関による登録証等の写しの提出により確認を行う。 ・設証されている事業活動と登録を受けている事業所に本社、工場、工事関係部署等)のわかる書類も添付すること。   ※工事と展開後に事業活動や登録事業所の書位は、評価にない。
			地元業者施工率			1			ISO9000S, ISO14001、M-EMSの認証を取得していない 地元業者施工率が70%以上である	0 ペーテー・ボルス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス
					0				地元業者施工率が70%未満である	した対象を設定していてもため、これの大学のはエモグリウェールをして、そのでは、対象を対象をしていて、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の対象により、大学の大学の主義により、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大
	安全衛生管理	代表者及び代表者以外の構成員	労働安全衛生マネジメントシステム認証の有無	0		1			労働安全衛生マネジメントシステム認証がある	労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001、OHSAS18001、JISHA方式適格OSHMS) 又は建設業労働安全衛生マネジメントシステム (COHSMS) の認証について評価する。     接証については、評価機関による評価証、適合証明書等の写しにより推放する。認証されている事業活動と登録を受けている事業所(本社、工場、工事関係部署等)のわかる書類も添付すること。
技術者要件	施工実績	代表者	平成18年度以降の同種・類似工事実績の有無						労働安全衛生マネジメントシステム認証がない 平成18年度以降に同種工事の元請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の工事実績がある	0 ※工事と無関係な事業活動や登録事業所の場合は、評価しない。  - 個、地方公共団体、公共法人、国主交通名令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成18年度以降に完成した工事を元請又は共同企業体の構成員(出資比率20%以上のものに限る)として、施工した実績の有無について、工事実績、工事内容、技術者配置状況を確認できる書類の提出を求める。
									若手技術者で平成18年度以降に類似工事の元請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の工事実績がある	・契約履行証明・工事元成設定者の写し、竣工登録されたコリンズの登録内容確認者(工事実績)の写しのいずれかと仕様者や図面等、工事内容と配技術者配置状況を確認できる書類を提出すること。 ・若手技術者は全和39年6月 「田根で電場も選比でよする。 ・現場代理人としての工事実績については、公告日現在で完成している工事において、全工事期間や(工事を全面的に一時中止している期間を除く)、工事に従事した実績をいう。 なお、工場製作期間を含む実績の場合は、全工事期間を対理施工期間とする。 ・主任(監測技術者としての工事実績については、公告日現在で完成している工事において、対象工事の契約日から完成日までの期間(工事を全面的に一時中止している期間を除く)において、完成日を含む2分の1以上の連続した期間 に英事した実践をいう。なお、工場製作期間を含む工事実績については、現場施工期間において、完成日を含む2分の1以上の連続した期間に従事した実践とする。 ・実績資料に設置で含工事実績に付きて、
				0					平成18年度以降に類似工事の元請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の工事実績がある	・提出された書類により判断できない場合は評価しない。 - 入札参加資格確認申請書の提出時に予備の技術者を申請する場合は、予備の技術者についても実績を証する書類の提出が必要である。その場合、本技術者要件の評価は、低い評価点の技術者で評価を行う。  1 - 同種工事とは、●●をいう。
						109			同種・類似工事の主任技術者又は現場代理人としての工事実績がない	- 類似工事とは、●●をいう。 0
	業務実績	代表者以外の構成員	平成23年度以降の同種・類似業務実績の有無						平成23年度以降に同種業務の管理技術者としての業務実績がある	・園、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成18年度以降に完成した業務を元請として、行った実積の有無について、業務実績、業務内容、技術者配置状況を確認できる書類の提 1.0 世名成名 1.0 世名成名 1.0 世名成立 1.0 世名
					0			1	平成23年度以降に類似業務の管理技術者としての業務実績がある	- 入札参加資格確認申請書の提出時に予備の技術者を申請する場合は、予備の技術者についても実績を証する書類の提出が必要である。その場合、本技術者要件の評価は、低い評価点の技術者で評価を行う。 0.5
									同種・類似業務の管理技術者としての工事実績がない	- 同種業務とは、●●をいう。 - 類似業務とは、●●をいう。 0
技術力	工程管理		工程管理に関する工夫					6(12)		(80)
								※最大2.0 点(4.0点) 項目×3項	少し工夫がある 2.0	(6.0) [テーマを記述する] (4.0) ●●●●・・・。
								目	標準的な記載のみで普通である 1.0	(20) 0(0)
	品質管理		品質管理に関する工夫					6(12)		(80)
								※最大2.0 点(4.0点) 項目×3項	少し工夫がある 2.0	[7一マを記述する] ●●●●●・・・。
	周辺環境		周辺環境に関する工夫					目	標準的な記載のみで普通である 1.0	0(0)
	[II] 122.158.17E		川及場外に関する上大		0	549	S 10	6(12) 8 ** = + 2 0	現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があり極めて優れている 4.0	(8.0) (co.) [テーマを記述する]
								点(4.0点) 項目×3項		(4.0)
	施工上の課題		施工上の課題に関する工夫	1					上記以外 [1項目あたりの評価基準] [1項目あたりの評価基準]	(0)
								6(12) ※最大2.0	現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があり極めて優れている 4.0 現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている 3.0	(80) (60) [テーマを記述する]
									少し工夫がある     20       標準的な記載のみで普通である     1.0	(440) ●●●●···。
	ヒアリング		技術力全般に係るヒアリング	_					上記以外 優れている	0(0)
									概ね機れている 見好である 概ね良好である	3 ・配置予定技術者に対してヒアリングを行い、業務への取り組み姿勢及び質疑の応答性について評価する。 2 ・配置予定技術者がヒアリングに欠席した場合は、技術力評価(技術提案書及びヒアリング)がO点となる。また、ヒアリングに出席した配置予定技術者以外は、受注後の主任(監理)技術者として配置できない。 1
その他	総合評価方式に係る技術提案等の名	 不履行による減点								0 る期間内である場合、「総合評価方式技術提案履行確定通知書」に記載された履行状況により、地元業者施工率の不履行の場合は「5点」、技術力に係る不履行の場合は「10点」を技術評価点の合計値からそれぞれ減点する。
						なお、複数の	工事で不履行が	あった場合に	た。その減点は累積し、最大30点の減点となる。	

#### 【ヒアリング無し】「詳細設計付管渠布設工事」総合評価方式簡易型評価項目(市内本店以外を含む発注)

工事名 : ●●工事 工事場所 : 四日市市 ●● 地内

March   Marc	評価分類	評価項目		評価内容	評価の		割合大	項目得点	小項目得点	評価基準	評価点	備考
March   Marc	地域要件		代表者以外の構成員		代表者	構成員						1
Part		- ::····		900 0000		0				市内に受任者を有する	0.	・受任者とは、四日市市請負工事入札参加資格者名簿に登載された者のうち、「測量・調査・設計業務における四日市市市内受任者の認定基準要領」に基づき、市内受任者として認定されたものをいう。 - 本店等所在地は、公告日現在における四日市市請負工事入札参加資格者名簿上の所在地で評価する。
March   Marc			代表者	平成18年度以降の1契約2,500万円以上の市内での工事 施工実績の有無			es.				0.	○ 5 · 国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成18年度以降に完成した1契約2,500万円以上の工事を元請又は共同企業体の構成員(出資比率20%以上のものに限る)として、市内  7 応下1・主義の方無について、工事後工主緒を至さる素軽の提出を考める
March   Marc					0		U.S.	-				0 ・工事実績は、公舎日現在で完成していること。
## 18			代表者以外の構成員	前の有無 (の有無		0			0.5		0.	—iπλοδ
March   Marc	企業要件	工事成績	代表者	本市工事過去5年平均工事成績			-				+'	- 当該来種は●●工事である。
## 1970   Part	1.4311	_ + max	1792.8		0				2	当該業種の「工事成績平均の評価点」の算出方法は、次式のとおりとします。 評価点=(工事成績平均一70)×1/5 ※当該書籍の工事は特別を持ちませ、1945年第10工事は特別があります。	2.00~	- 算出式中の工事成績平均は、小敷点以下切捨てとする。 の一工事成績が特の場合は、その急数を単式は中の工事成績平均とする。
## 1920   Principal Control   Principal Contro	1				-				-	ペーロスやはマンナ学が成在エウルマシニル・4日 ペニ版末性ジェー学は根エリがり見:U.1日 ※70点未満又は当該業種工事の実績を有しない:0点		・過去5年間(平成28~令和2年度に完成した工事)の工事成績が確認できる工事成績評定通知書の写しを提出すること。
1	1	優良工事表彰	代表者	当該年度を含む過去10年間の				İ		当該業種かつ1契約の請負金額が当該発注工事予定価格の2分の1(円未満切捨て)以上の工事における優良: 表彰の実績がある	I.P.	
Part	1									当該業種かつ1契約の請負金額が当該発注工事予定価格の2分の1(円未満切捨て)未満の工事における優良3	工事 0.	, I・優良工事表彰の実績のわかる書類(①表彰の写し、②工事完成認定書の写しまたは契約書・変更契約書の写し)を提出すること。
# 15 Part   Part	1				0				1		0.	- 3Vで表彰された実績も評価の対象とする。 5・対象となる優上工事表彰は、平成24年度表彰~令和3年度表彰とする。
March   Marc	1									優良工事表彰の実績がない		- 「「契約の請負金額」は、完成時の請負金額とする。 0
Marchest	1	施工(業務)実績	代表者	平成18年度以降の同種・類似工事実績の有無						可选10年中川欧川四孫丁市の二地、川丁市中線が12.		・国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成18年度以降に完成した工事を元請又は共同企業体の構成員(出資比率20%以上のものに限る)として、施工した実績の有無につい
# 1	1									〒  八十    大学    大学   大学   大学   大学   大学   大学		■・契約履行証明・工事完成認定書の写し・竣工登録されたコリンズの登録内容確認書(工事実績)の写しのいずれかと仕様書や図面等、工事内容を確認できる書類を提出すること。
## 1987   PRINCE   PR	1				0				1			・実績資料に記載できる工事実績は1件まで。
March   Marc	1									平成18年度以降に競似工事の元請・JV工事美額がある	0.	5
Part	1									同種・類似工事の元請・JV工事実績がない		<ul> <li>一・同種工事とは、●●をいう。</li> <li>1</li></ul>
Park	1		代表者以外の構成員	平成23年度以降の同種・類似業務実績の有無				F				
Part	1									平成23年度以降に同種業務の元請・JV業務実績がある		・国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人の何れかが発注し、平成28年度以降に完了した業務を元請として、行った実績の有無について、業務実績、業務内容を確認できる書類の提出を求める。 - 契約履行証明・業務完了設定書の写し、完了登録されたテクリスの登録内容確認書(業務実績)の写しのいずれかと仕様書等、業務内容を確認できる書類を提出すること。 - 参取実績は、少年中国本の学习にいよーと
Martin	1						30%	9	1			➡」・実績資料に記載できる業務実績は1件まで。
### PARTIES   Margine State										平成23年度以降に類似業務の元請・JV業務実績がある	0.	5
### 1985										□鍾・怒付金路の〒1個・I/V金路全緒がかし		- ・同種業務とは、●●をいう。 n ・類似業務とは、●●をいう。
March								-				
### PROPERTY OF THE PROPERTY O		地域·社会貢献度	代表者及び代表者以外の構成員	障害者雇用の有無	0				1	法定雇用率を達成している又は法定雇用義務はないが障害者を雇用している		1 - 順審者の屋用の促進等に関する法律により屋用が蔓接付けられている企業(455人以上の事業主)は、職業安定所に提出する障害者屋用状況報告書等の写しにより、法定屋用率による法定屋用が連成されていること(身体障害者、知的 順審者の足関系を受け其場論産業者物の不足数がの人であること)を連携する。なお、原本者屋用状況報告書とは、職業安定所へ提出した最新のよの支援出すること(8月1日以際に入身の公共を行う者のについては当該集産の主のに関る)。
Marine   M	1									法定雇用率を達成していない又は障害者を雇用していない		・上記以外の企業については、障害者手帳番号等により雇用を確認する。(併せて令和3年6月1日現在の常時雇用(3ヶ月以上)を確認できる健康保険証等の写しを提出すること。一人分の提出で可)
### 1985	1		代表者及び代表者以外の構成員	次世代育成支援活動実績の有無				F	0.5	就業規則等に育児休業制度が規定されている	0.	<ul> <li>5 ・労働基準監督署の受付印が確認できる就業規則等の写しにて確認する。別に育児休業の規定を設けている場合はその写しの提出も併せて求める。</li> </ul>
### PARTICIPATION OF THE PARTI	1		代表表及び代表表に外の構成員	災害協定締結の <b>有</b> 毎				-			0	5
### 1985   1985	1		「以前以び「以前以前以東	火自団だ神智が行派	0				0.5		0.	<ul><li>・本市との災害協定書の写しを添付のうえ提出を求める。</li><li>0</li></ul>
Part	1		代表者及び代表者以外の構成員	ISO、M一EMSの認証取得の有無	0				0.5	ISO9000S、ISO14001、M-EMSのいずれかの認証の取得がある	0.	5 - iSO9000S、ISO14001、M-EMS(ステップ2又はステップ1)のいずれかの認証があれば評価する。認証については、評価機関による登録証等の写しの提出により確認を行う。 - i設証されている事業活動と登録を受けている事業所は本社、工場、工事関係制署等)のわかる書類も添付すること。
### 1982	1									ISO9000S、ISO14001、M-EMSの認証を取得していない		0   ※工事と無関係な事業活動や登録事業所の場合は、評価しない。
特別では   10mm	1			地元業者施工率		,			1	地元業者施工率が70%以上である		1 ・総合評価当該工事において地元業者施工率が70%以上になると申告した場合について評価する。地元業者施工率とは、元請の請負金額に占める市内本店業者(元請及び一次下請)の請負金額の割合のことをいう。また、契約内容に応 IC、材料や整要についても、下諸価全額に含んで施工業を管定すること。
### 1985년 -	1									地元業者施工率が70%未満である		0 地元業者施工率が70%以上であると申告した場合は、契約後、工事一部下請屬け及び下請負契約書の写しの下請負金額で、施工率を確認する(施工において最終的に70%未満になると減点対象となる)。
	1	安全衛生管理	代表者及び代表者以外の構成員	WHI TO A WALL TO SELECT THE SELEC				F	_	労働安全衛生マネジメントシステム認証がある	0.	5 - 労働安全衛生マネジシントシステム (ISO45001、OHSAS18001、JISHA方式適格OSHMS) 又は建設業労働安全衛生マネジメントシステム (COHSMS) の認証について評価する。
#####################################	1			労伽安全衛生マネジメントシステム認証の有無	U				0.5	労働安全衛生マネジメントシステム認証がない		・診証にフルドは、評価機関による評価証、適合証明書等の与しにより確認する。認証されている事業活動と登録を受けている事業所(本社、工場、工事関係部署等)のわかる書類も添付すること。 0 ※工事と無関係な事業活動や登録事業所の場合は、評価しない。
#####################################	技術者要件	施工実績	代表者	平成18年度以降の同種・類似工事実績の有無								图 这十八年四年 八年十二 图上中国企业中的工作上面对方的企业上 自己上,任务之,并且在中国的企业上,由于上海中山北京,在一个公司,在
####################################	1									平成18年度以降に同種工事の元請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の工事実績がある	-	~ 【で、工事実績、工事内容、技術者配置状況を確認できる書類の提出を求める。
### 1	1											- 若手戌時者はや和2年6月1日現在で海45歳以下とする。 一、現場作型人としての工事実績については、会告日現在で完成している工事において、全工事期間中(工事を全面的に一時中止している期間を除ぐ)、工事に従事した実績をいう。
### ### ### ### #### ################	1									若手技術者で平成18年度以降に類似工事の元請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の工事実績がある	1.1	
### ### ### ### #####################	1				0			2	2			- 実績資料に記載できる工事実績は1件まで。 - 提出大計・書籍に上り期所できな1場会は理価(ない、
### ### ### ### #### ################												<ul><li>・入札参加資格確認申請書の提出時に予備の技術者を申請する場合は、予備の技術者についても実績を証する書類の提出が必要である。その場合、本技術者要件の評価は、低い評価点の技術者で評価を行う。</li></ul>
	1									平成18年度以降に類似工事の元請・JVとしての主任技術者又は現場代理人の工事実績がある		1
	1											- 同種工事とは、●●をいう。 ・規例工事とは、●●をいう。
	1						10%			同種・類似工事の主任技術者又は現場代理人としての工事実績がない		<b> </b>
	1	堂茶宝结	代表表以外の様式品	平成23年度以降の同様・類似参数字はの方無			$\vdash$					- 国 地方公共団体 公共法人 国土交通省全で営める法人及びその他の法人の何れかが整注 平成19年度出路に学成1 た業務を予請として おった事績の実施について 業務事績 業務中の 世派子和神体でも近視できる事故の役
### ### ### #########################	1	<b>☆™</b> 大概	1 V2ATE 外/「V2情以民	1 mcu平汉邓四世·城冰未仿大粮以有燕						平成23年度以降に同種業務の管理技術者としての業務実績がある	1.0	出き支がる。 し 実約履行証明・業務完了認定書の写し・完了登録されたテクリスの登録内容確認書(業務実績)の写しのいずれかと性様書等、業務内容と技術者配置状況を確認できる書類を提出すること。
日本語の												・管理技術者としての業務実績については、公告日現在で完了している業務において、全業務期間中、業務に従事した実績とする。 ・実績資料に記載する主義整実的は1時まで。 ・特地よりも、実施により継承に対象に対象と対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対
						0		1	1	□ご22年中川改厂短州参数の施調仕係事 1.1 マルキ牧中線がカラ	_	・ 実工でルに音頭 ・
日本語の名の音音を見いている。										平成23年度以降に競似業務の管理技術者としての業務実績がある	0.	
接着音												- ・同種業務とは、●●をいう。 ・類似業務とは、●●をいう。
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	1									同種・類似業務の管理技術者としての工事実績がない	-	
### ### ### ### ### #### ############	技術力	工程管理		工程管理に関する工夫	l				3(16)		_	<b>-</b>
(1) 日本	1								※最大4.0		3.0(6.0	「テーマを記述する
上記は	1							5	点(8.0点)/ 項目×2項	少し工夫がある	2.0 (4.0	<u>୭</u> ●●●●•·
日本の	1	D SS ACTIO		D 66 M 181 - 192 - 7 m 1						上記以外	0(0	0)
	1	品貨管理		品質管理に関する工夫				8	3(16)			-
日本	1								※最大4.0 点(8.0点)/	現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている	3.0(6.0	
開辺環境 開辺環境に関する工夫	1								項目×2項 目	標準的な記載のみで普通である	1.0(2.0	0
製機状況等を請求え過びて重要な記憶があり様めて優れている	1	周辺環境		周辺環境に関する工夫			54%	16			_	
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)										現場状況等を踏まえ適切で重要な記載があり極めて優れている		n [テーマを記述する]
日 機能的な記載のみで音楽である 10(20)									点(8.0点)/ 頃日×2頃	少し工夫がある	2.0 (4.0	20
8(16) 現場状況等を踏まえ並ので重要な記載があり機ので優れている 4,0(8.0) 現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている 3,0(6.0) [デーマを記述する] 現代収等を踏まえ工夫が見られ優れている 3,0(6.0) [デーマを記述する] (アーマを記述する] (アーマを記述する] (アーマを記述する] (アーマを記述する] (アーマを記述する] (アーマを記述する) (アーマを記述する] (アーマ	1							l	B ^			
※最大4.0 関場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている 3.0(6.0) [テーマを記述する] 20(4.0) (サースを分离 20(4.0) (サースを記述する) (サースを分离 20(4.0) (サースを記述する) (サースを分离 20(4.0) (サースを記述する) (サースを定述する)	1	施工上の課題		施工上の課題に関する工夫				8	3(16)			-
機関学的記載のみで普査である 1.0(2.0) とした 1.0(2.0) という はいます 1.0(2.0) という 1.0(2.0)	1								※最大4.0	現場状況等を踏まえ工夫が見られ優れている	3.0(6.0	0) [テーマを記述する]
上記以外 0(0) との計画方式に係る技術搜案等の不履行による滅点 にの工事の公告日が、「設計施工一括魚注方式による下水道工事」に係る総合評価方式において四日市市上下水道局が発注した工事で不履行によるベナルティが課されている期間内である場合、「総合評価方式技術搜案履行確定通知書」に記載された履行状況により、地元業者施工率の不履行の場合は「5点」、技術力に係る不履行の場合は「10点」を技術評価点の合計値からそれぞれ滅点する。	1							I.				
	その他	総合評価方式に係る特術提案等の不同	 骤行による滅点				工事の公告ロチ	γ. Γ#0-#+#s-¬		上記以外		
	1											ルー・マー・マー・マー・アングスの1947年後に1947年後に1947年では、1947年では、1947年では、1947年では、1947年に1947年(1947年)が表には、1947年に1947年に1947年に1947年に1 1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に1947年に19

# 地 域 資 料 (地域における工事実績)

会社名

	地域における工事実績について			を提出	します。	。(該当	する項目	目に図チ	エックする	る。)	
	□市内  □該当する	上事美績7。	r L								
エ	工事名										
事	発注機関名										
名	施工場所(市町村名)										
称	契約金額	¥									
等	工期	年	月	日	~	年	月	日			
	受注形態	□単体		□JV	(出資	比率	%)				
エ											
事											
概											
要											

市内の工事実績を提出すること。(1つの契約で〇〇千円以上であり、平成18年度以降に完成した国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人のいずれかが発注の元請又はJV構成員(構成比率20%以上)に限る。)

なお、上記工事に関する次の書類のいずれかを添付し、提出すること。

等

	○契約履行証明の写
右記のいずれか	○工事完成認定書の写し
	○コリンズの登録内容確認書(工事実績)の写し

※JVの実績の場合は、出資比率が確認できる書類も添付すること。

# 地 域 資 料 (地域における業務実績)

	会社名
地域における業務等	実績について、次のとおり資料を提出します。(該当する項目に☑チェックする。)
□市内	□該当する業務実績なし

業	業務名									
務	発注機関名									
名	業務場所(市町村名)									
称	契約金額	¥								
等	委託期間	年	月	日	$\sim$	年	月	目		
業										
務										
概										
要										
等										

市内の業務実績を提出すること。(1つの契約で〇〇千円以上であり、平成23年度以降に完成した国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人のいずれかが発注の元請

なお、上記工事に関する次の書類のいずれかを添付し、提出すること。

	○契約履行証明の写
右記のいずれか	○業務完了認定書の写し
	○テクリスの登録内容確認書(業務実績)の写し

#### 会 社 資 料 (工事成績評点、優良工事表彰、地域·社会貢献度·安全衛生管理)

会性名		
こ事成績評点等について、次のとおり資料を打	提出します。(該当する項目に☑チェック。	广る。)
工事成績評点 □実績あり( 件)	□実績なし	
優良工事表彰 □実績あり	□実績なし	
障害者雇用 □障害者雇用促進法で義務付けのあ □上記以外の企業	る50人以上の事業主 : □雇用あり : □雇用あり	□雇用なし □雇用なし
次世代育成支援活動実績 □規則等あり	□規則等なし	
災害協定締結 □締結あり	口締結なし	
ISO認証取得 □認証あり	□認証なし	
労働安全衛生マネジメントシステム □認証あり	□認証なし	

※実績等がある場合は必ず、証明書類を添付してください。

#### 工事成績評点について

公告において明示した業種について、過去5年間(平成28~令和2年度に完成した工事)の本市発注の工事成績評点がわかる書類の写しを提出すること。写しの代わりに一覧表の提出でも可(工事場所、工事名、工事成績占数がわかろもの)

工事成績は期間中の全件とし、平均値(小数点以下切捨て)を評価基準の算出方法により評価する。また、J Vでの成績も含める。

#### 優良工事表彰について

本市が行っている優良工事表彰について、その実績がわかる書類(①表彰の写し、②工事完成認定書の写しまたは契約書・変更契約書の写)を提出すること。写しの代わりに一覧表の提出でも可

(表彰年度、業種、工事名、最終請負金額がわかるもの)。JVで表彰された実績も含める。

#### 障害者雇用について

障害者の雇用の促進等に関する法律により雇用が義務付けられている企業(50人以上の事業主)は、職業安定所に提出する障害者雇用状況報告書等の写しにより、法定雇用率による法定雇用が達成されていること(身体障害者、知的障害者又は精神障害者数の不足数が0人であること)を確認する。なお、障害者雇用状況報告書は、職業安定所へ提出した最新のものを提出すること(8月1日以降に入札の公告を行うものについては当該年度のものに限る)。

上記以外の企業については、障害者手帳番号等により雇用を確認する。(併せて令和3年6月1日現在の常時雇用(3ケ月以上)を確認できる健康保険証等の写しを提出すること。一人分の提出で可)

#### 次世代育成支援活動実績について

育児休業制度については就業規則の写しにより確認する。労働基準監督署の受付印が確認できる写しを 提出すること。別に育児休業の規定を設けている場合はその写しも併せて提出すること。 (育児休業の規定の写しで労働基準監督署の受付印が確認できる場合は、その写しの提出でも可)

#### 災害協定締結について

本市との災害協定書の写しを添付すること。

#### ISO認証所得について

評価機関による登録証等の写しにて確認する。その際、認証されている事業活動が業務に一致していること と登録を受けている事業所のわかる書類も添付すること。

※事業活動や登録事務所が一致していない場合は評価しない。

#### 労働安全衛生マネジメントシステムについて

労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針(厚生労働省)に沿った取り組みとして、評価機関による評価証、適合証明書等の写しを提出すること。認証されている事業活動が業務に一致していることと登録を受けている事業所のわかる書類も添付すること。

※事業活動や登録事務所が一致していない場合は評価しない。

# 会 社 実 績 資 料 (同種工事、類似工事)

		会社名
会社	実績(同種工事、類似工事)につい	、、次のとおり資料を提出します。(該当する項目に☑チェックする。)
	□同種工事    □類個	以工事    □工事実績なし
エ		
事	発注機関名	
名	施工場所(市町村名)	
称	契約金額	¥
等	工期	年 月 日 ~ 年 月 日
	受注形態	□単体 □JV(出資比率 %)
工		
事		
<del>す</del>		
概		
要		
等		
率20	%以上)としての施工実績を記入	額〇〇千円以上の、同種又は類似工事の元請又はJV構成員(構成比すること。(いずれか1件とし、国、地方公共団体、公共法人、国土交通のいずれかが発注のものに限る。)
同種	工事とは0000000000	000000000000000000とする。
類似	工事とは0000000000	00000000000000000000000000000000000000
なお	、次のとおり契約内容書類と工事に	内容書類を添付すること。
	契約内容書類 (右記のいずれか)	<ul><li>○契約履行証明の写</li><li>○工事完成認定書の写し</li><li>○コリンズの登録内容確認書(工事実績)の写し</li></ul>
	工事内容書類 (右記のいずれも)	<ul><li>○工事内容を確認できる仕様書・図面等</li><li>○コリンズの登録内容確認書(工事実績)(技術データを含むもの)</li></ul>

※JVの実績の場合は、出資比率が確認できる書類も添付すること。

# 会社実績資料(同種業務、類似業務)

		会社名
会社	実績(同種業務、類似業務)につい	いて、次のとおり資料を提出します。(該当する項目に <b>☑</b> チェックする。)
	□同種業務  □類個	似業務 □業務実績なし
業	業務名	
務	発注機関名	
名	業務場所(市町村名)	
称	契約金額	¥
等	委託期間	年 月 日 ~ 年 月 日
業		
務		
概		
要		
等		
入す		報○○千円以上の、同種又は類似業務の元請としての業務実績を記 地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法
同種	業務とは0000000000	00000000000000000000000000000000000000
類似	業務とは〇〇〇〇〇〇〇〇〇	00000000000000000000000000000000000000
なお、	、次のとおり契約内容書類と業務	内容書類を添付すること。

○契約履行証明の写

○業務完了認定書の写し

○業務内容を確認できる仕様書等

○テクリスの登録内容確認書(業務実績)の写し

○テクリスの登録内容確認書(業務実績)(技術データを含むもの)

契約内容書類

(右記のいずれか)

業務内容書類 (右記のいずれも)

# 施工体制資料(地元業者施工率)

	会社名
当該工事の施工体制について、	次のとおり資料を提出します。(該当する項目に< グチェックする。)
□市内業者の割合70%以上	□市内業者の割合70%未満

		施工の別(〇印を付ける。)					
自社又は1次下請によ	自社又は1次下請による工事内容			請施工 市外業者			
			市内業者	1177 Ж.			
	施工率[%]						

総合評価当該工事において地元業者施工率が70%以上かどうかについて申告してください。

地元業者施工率とは、元請の請負金額に占める市内本店業者(元請及び一次下請)の請負金額の割合をいいます。

地元業者施工率が70%以上であると申告した場合は、本資料を契約書に綴じ込むこととし、契約後、工事一部下請負届け及び下請負契約書の写しで下請負金額を確認します。

70%以上を申告した場合、施工において最終的に70%未満になると減点対象となります。

施工率[%]は、自社の見積りをベースに、「自社施工」「1次下請施工(市内・市外)」の別に施工率を記載してください。

契約内容に応じ、材料や経費についても下請負金額に含んで施工率を算定してください。

## 施工体制資料(地元業者施工率)

·	会社名
当該工事の施工体制について、	欠のとおり資料を提出します。(該当する項目に☑チェックする。)
□市内業者の割合70%以上	□市内業者の割合70%未満

	自社又は1次下請による工事内容				
自社又は1次下請は	自社又は1次下請による工事内容				請施工
		市外	市内	市内業者	市外業者
	施工率[%]				

総合評価当該工事において地元業者施工率が70%以上かどうかについて申告してください。

地元業者施工率とは、元請の請負金額に占める市内本店業者(元請及び一次下請)の請負金額の割合をいいます。

地元業者施工率が70%以上であると申告した場合は、本資料を契約書に綴じ込むこととし、契約後、工事一部下請負届け及び下請負契約書の写しで下請負金額を確認します。

70%以上を申告した場合、施工において最終的に70%未満になると減点対象となります。

施工率[%]は、自社の見積りをベースに、「元請(市外・市内)」「1次下請施工(市内・市外)」の別に施工率を記載してください。 契約内容に応じ、材料や経費についても下請負金額に含んで施工率を算定してください。

## 【記入例】施 工 体 制 資 料 (地元業者施工率)

会社名 四日市市役所建設株式会社

施工体制について、次のとおり資料を提出します。(該当する項目に又チェックする。)

☑市内業者の割合70%以上 □市内業者の割合70%未満

		施工	施工の別(〇印を付ける。)				
自社又は1次下請による	る工事内容	自社施工	1次下	請施工			
			市内業者	市外業者			
下記以外の建築工事		0					
塗装工事			0				
左官工事			0				
木製建具工事				0			
	請,	社の見積りをベー 施工(市内・市外 ださい。 施工率の[%]合言	)」の別に施工率				
L	施工率[%]	61.3%	31.6%	7.1%			

総合評価当該工事において地元業者施工率が70%以上かどうかについて申告してください。

地元業者施工率とは、元請の請負金額に占める市内本店業者(元請及び一次下請)の請負金額の割合をいいます。

地元業者施工率が70%以上であると申告した場合は、本資料を契約書に綴じ込むこととし、契約後、工事一部下請負届け及び下請負契約書の写しで下請負金額を確認します。

70%以上を申告した場合、施工において最終的に70%未満になると減点対象となります。

施工率[%]は、自社の見積りをベースに、「自社施工」「1次下請施工(市内・市外)」の別に施工率を記載してください。 契約内容に応じ、材料や経費についても下請負金額に含んで施工率を算定してください。

### 【記入例】施工体制資料(地元業者施工率)

会社名 四日市市役所建設株式会社

当該工事の施工体制について、次のとおり資料を提出します。(該当する項目に☑チェックする。)

☑市内業者の割合70%以上 □市内業者の割合70%未満

			五工の別(○			
自社又は1次下請による工事内容			譜		下請施工	
		市外	市内	市内業者	市外業者	
下記以外の建築工事						
塗装工事						
左官工事						
木製建具工事						
設計業務						
	市外。 	」「1次下請 を記載してく	ベースに、「 病施工(市内 ください。 合計 = 1	]・市外)」の		
	施工率[%]		61.3%	31.6%	7.1%	

総合評価当該工事において地元業者施工率が70%以上かどうかについて申告してください。

地元業者施工率とは、元請の請負金額に占める市内本店業者(元請及び一次下請)の請負金額の割合をいいます。

地元業者施工率が70%以上であると申告した場合は、本資料を契約書に綴じ込むこととし、契約後、工事一部下請負届け及び下請負契約書の写しで下請負金額を確認します。

70%以上を申告した場合、施工において最終的に70%未満になると減点対象となります。

施工率[%]は、自社の見積りをベースに、「元請(市外・市内)」「1次下請施工(市内・市外)」の別に施工率を記載してください。

契約内容に応じ、材料や経費についても下請負金額に含んで施工率を算定してください。

## 技術者実績資料(同種工事、類似工事)

		会社名					
技術を	者実績(同種工事、類似工事)につ ※ 配置予定技術者ごとに1葉(			出します。	(該当당	ナる項目	<b>■に</b> ☑チェックす
	□同種工事  □類似工	[事(□若手技術	術者 □左	記以外 )		□工事	<b>事実績なし</b>
	配置予定主任技術者の氏名						
	資格						
工	工事名	<u> </u>					
事	発注機関名						
名	施工場所(市町村名)						
称	契約金額	¥					
等	工期	年	月 日	~	年	月	目
!	受注形態	□単体	□JV(∄	出資比率	%)		
工					_	_	
事							
概							
要							
等							
率209	1 成18年度以降に完成した契約金額 0%以上)としての施工実績を記入 で定める法人及びその他の法人の	すること。(いずね	れか1件とし	、、国、地方			
	:工事とは〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				<b>ごする。</b>		
	工事とは00000000000						
なお。	、次のとおり契約内容書類と工事内	内容書類を添付	rすること。 			_	
	契約内容書類	○契約履行証 ○工事字代認	証明の写	7			

○工事完成認定書の写し

○コリンズの登録内容確認書(工事実績)の写し

○コリンズの登録内容確認書(工事実績)(技術者・技術データを含むもの)

○工事内容を確認できる仕様書・図面等

※JVの実績の場合は、出資比率が確認できる書類も添付すること。

(右記のいずれか)

工事内容書類及び

技術者施工実績確認書類

(右記のいずれも)

## 技術者実績資料(同種業務、類似業務)

	会社名									
	技術者実績(同種業務、類似業務)について、次のとおり資料を提出します。(該当する項目に <b>2</b> チェックする。) ※配置予定技術者ごとに1葉(1式)を提出すること。  □同種業務  □類似業務  □業務実績なし									
Ī	配置予定管理技術者の氏名									
	資格									
業	業務名									
務	発注機関名									
名	業務場所(市町村名)									
称	契約金額	¥								
等	委託期間	2	年	月	目	~	年	月	日	
業										
務										

平成23年度以降に完了した契約金額〇〇千円以上の、同種又は類似業務の実績を記入すること。(いずれか1件とし、国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人のいずれかが発注のものに限る。)

なお、次のとおり契約内容書類と業務内容書類を添付すること。

概

要

等

契約内容書類 (右記のいずれか)	<ul><li>○契約履行証明の写</li><li>○業務完了認定書の写し</li><li>○テクリスの登録内容確認書(業務実績)の写し</li></ul>				
業務内容書類及び 技術者業務実績確認書類	○業務内容を確認できる仕様書等				
(右記のいずれも)	○テクリスの登録内容確認書(業務実績)(技術者・技術データを含むも				

### 工程管理に関する技術資料

会社名:

工程管理について、次のとおり技術資料(技術提案書)を提出します。

1項目あたりの評価基準及び評価点

【ナーマ】			
0000000000000000	000000000000000	0000000000000	000000000000000000000000000000000000000

※技術力の評価項目が1つの場合は(

) 内の配点となります。

評価基準	現場状況等を踏まえ適 切で重要な記載があり 極めて優れている	現場状況等を踏まえ工 夫が見られ優れている	少し工夫がある	標準的な記載通である	のみで普	左記以外
評価点	2.0 (4.0)	1.5 (3.0)	1.0 (2.0)	0.5 (1.	0)	0 (0)
				<u>'</u>		
提案項目 1	(対策名:		)	※配点	[2.0~0	(4.0~0) ]
		提案内容				具体的な確認方法
具体的な内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
提案する理由						
提案項目 2	(対策名:		)	※配点	[2.0~0	(4.0~0) ]
具体的な内容		提案内容				具体的な確認方法
提案する理由						
提案項目3	(対策名:		)	※配点	[2.0~0	(4.0~0) ]
		提案内容				具体的な確認方法
具体的な内容 提案する理由						

<sup>|</sup> | ※本資料は、契約書に綴じ込むこととし、総合評価方式技術提案履行確認協議書により履行を確認します。 | ※「提案項目の補足資料」には、提案項目を補足するための図面・カタログ・表・写真等の写しを添付することができます(A 4 用紙 2 枚まで)。 | 補足説明は、どの提案項目の、どの記述箇所を補足説明したものかわかるようにしてください。 | ※「具体的な確認方法」には、発注者が提案内容の履行を確認する方法を必ず記入してください。

### 工程管理に関する技術資料

会社名:

提案項目の補足資料	

<sup>※</sup>本資料は、契約書に綴じ込むこととし、総合評価方式技術提案履行確認協議書により履行を確認します。
※「提案項目の補足資料」には、提案項目を補足するための図面・カタログ・表・写真等の写しを添付することができます(A4用紙2枚まで)。
補足説明は、どの提案項目の、どの記述箇所を補足説明したものかわかるようにしてください。

### 工程管理に関する技術資料

会社名:

提案項目の補足資料	
※本資料は、契約書に綴じ込むこととし、総合評価方式技術提案履行確認協議書により履行を確認します。	

<sup>※「</sup>提案項目の補足資料」には、提案項目を補足するための図面・カタログ・表・写真等の写し を添付することができます(A4用紙2枚まで)。 補足説明は、どの提案項目の、どの記述箇所を補足説明したものかわかるようにしてください。